

## 第3章 都市づくりの目標〈全体構想〉

### 1 目指すべき都市像

#### (1) 都市づくりの原点

あすの姫路市は、市民が「住んでよかった。これからも住みたい」と思い、人々から「行ってみたい。住んでみたい」と思われる都市でありたい。

そのためには、姫路に暮らす一人ひとりが「ふるさと・ひめじ」に誇りと愛着を持ち、健やかで心豊かな生活を楽しむ。また、人々の多様で創造的な活動の舞台が整い、そこでは、人、もの、情報、文化がいきいきと交流し、新たな出会いと感動、創造が生まれ、さらに人々が集う。そのような生きがいと魅力ある住みよい都市を創造していきたい。

とりわけ世界文化遺産姫路城は人類の貴重な歴史遺産であるとともに、姫路市のシンボルでもあります。時代が変わっても城を生かした都市づくりは、都心はもとより姫路市の活性化には欠かすことのできないテーマであり、私たちがこの遺産を誇りや自信として共有することが、都市づくりの原点です。

## (2) 目指すべき都市像

本市では、現在・過去・未来の市民に責任を持てる持続可能な都市の姿として、姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン 2020」に掲げる次の都市像の実現を目指します。

### 目指すべき都市像

## 「生きがいと魅力ある 住みよい都市 姫路」

この都市像は、播磨の豊かな自然と災害が少ない環境から受ける恵みに感謝し、その資源をより豊かなものとして未来の世代に引き継ぐ「自然との共生」、文化や世代等の違いを超えて、互いに尊重し合い、市民が主体となってまちづくりを行う「人と人との共生」、先人の業績を敬い、歴史に培われた資源や知恵から受けている恩恵を活かし、さらに磨きをかけ未来の市民に引き継ぐ「歴史・文化との共生」の3つの共生による「共生のまちづくり」を基本理念とし、現在・過去・未来の市民に責任を持てる持続可能な都市の姿をイメージしています。

また、目指すべき都市像を実現するため、4つの基本目標を設定しています。

### 実現のための基本目標

#### ① ふれあいと賑わいある 協働・交流都市

市民一人ひとりが豊かな生活を実感し、共にまちづくりを担い、人、もの、情報等が交流する、ふれあいと賑わいある都市づくりを進める。

#### ② 風格と活力ある 歴史文化・産業都市

市民が歴史文化と市民文化に愛着を持ち、活発な産業活動が多様な価値を生み出し、効率的で効果的な都市経営に基づく、風格と活力ある都市づくりを進める。

#### ③ やさしさと信頼に満ちた 教育・福祉都市

未来を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を実現し、すべての市民が互いに支え助け合い、安心して暮らせる、やさしさと信頼に満ちた都市づくりを進める。

#### ④ 自然豊かで快適な 環境・利便都市

自然と共生し資源循環を基調とした社会づくりを進めるとともに、だれもが安全で安心して質の高い生活ができる、自然豊かで快適な都市づくりを進める。